とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

足寄町議会 49.4.23 受付

# 野党を伸ばさねば

## 公明党の農業危機突破集会

公明党十勝総支部による農業危機突破懇談会（宮口政雄実行委員長）は十五日午後四時半から足寄町林業会館に足寄、本別、陸別町の農民など百五十名があつまつてひらき、宮口委員長のあいさつと司会によつて公明党道本部の柴田政那副書記長（帯広市議）、野村光雄書記長（道議）、相沢武彦副本部長（前衆議、参議選道地方区予定候補）からそれぞれあいさつがあり来賓の小林町長からあいさつがあつて懇談会に入りました。

このなかで、鈴木勲氏（陸別）は『あまりに政治に無関心の人々が多い、人間性に根ざした政治でなければならない』星孝一氏（足寄）は『乳価問題で上京運動にあたつたが、われわれは八十八円四十三銭を要求したのにたいして自民党案は七十三円五十五銭だつたこれではなつとくできないと全道代表団の大会をひらいたところ本名、中川、安田代議士らがやつてきてさらに一円でも二円でも引上げに努力するといつたが、結果は七十円二銭になつた、国会の農林水産委員会を傍聴したが野党議員はよくガンバツてくれた、こんな状態ではどうしても野党の勢力をふやさなければならないことを痛感した』と述べ、本谷農民同盟事務局長から町村長が先頭に立つた農業危機突破運動の現状を説明しこんごは乳業会社やビート会社と取引価格の交渉によつてより有利な出荷をはかつていく対策などを報告しました。

最後に相沢氏が立つて『地元の代議士が農民のためになんとかしようと努力しても大資本と結びついている自民党政府のカベは厚い近代的な工業国と思われるアメリカでも農業予算に三〇%以上もつぎこんでいるのに、日本では農林水産を合せて一八%にすぎない、輸入飼料の四〇%を扱つている全農では為替差益のカラクリで二カ月で十六億円ももうけていることを公明党がつきとめて農民に還元させることにしたが、畜産振興事業団にしても国費の費消に疑義があり、公明党としては農業危機のなかで太企業に奉仕する自民党政治をかえさせるために野党勢力を伸ばしていつて、きたるべき参議院選挙で保守革新の逆転をはかつていかなければならない』と結び午後六時すぎに閉会しました。

これより先に、実行委員会では十四日に帯広市の街頭で雨のなか酪農危機突破募金活動をおこない、この日の集会前に宮口委員長から足寄町農協内の危機突破大会事務局に募金をとどけました。

# 四町間の意志統一へ

## 大野道議推せん問題

明年の道議選に足寄町から大野耕太郎氏を自民党公認での動きは三月の町議会議員協議会での諒承を得てから池北線—十勝東部の自民党各支部共通の課題として浮上してきました。

この問題はもともと足寄町独自の動きではなく、前回、浦幌町の朝日昇氏の出所進退がもたついて時間的に地元からの立起を見送らざるを得なかつた反省のうえに立つて、次回（明年）はなんとしても池北線から公認候補を立てることを本別、足寄、陸別浦幌の四町自民党支部のあいだの申し合せとなつていました。

候補者についてはどの支部からでも党籍をもつ適任者であれば四支部の話し合いで決め、一致して推すことになつていましたが、できれば立地的には足寄から出せるものならという空気もあり、足寄支部の出方でもまちの態勢ともなつていました。

このために足寄支部では鷲足支部長らがこのほど本別、陸別、浦幌の各支部にたいして大野氏を推薦するまでの経過を説明して協力を求めた結果、近く四町支部役員による合同会議をひらいて意志統一をはかることになりましたが、大野氏推薦にまとまるかどうか、その結果が注目されています。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久 久保呉服店
足寄町 T二一四八

# 町有財産の管理など

## 神本議員が追及

（前号からつづく）

定例第一回足寄町議会の一般質問の最後に神本議員からつぎのように問題提起がありました。

神本三也議員　財産管理について—道庁にたいしては土木現業所以外は全部無償貸付だがどう考えるか、警察の住宅は警官以外は入れない、契約も結んでいない、是正すべきだ、高校にも問題がある、北電に農電買収にからみ電柱を無償貸付している、株式会社北電に無償はどうか、旧校舎の大部分は放置されているが管理をどうするか、小坂山の開発にともなう自然破壊の防止はどうか

富田助役　道庁へ町有財産の無償貸付は一部は是正したが高校女子寮、警察派出所住宅はこんご有償化をすすめたい、北電の道路占用は町村全体の問題で、他町村も無償であり全町村でやらねばならない、旧校舎の茂喜登牛、上利別は交渉中でその他は本年度処分したい、小坂山の契約のなかで公害、災害の防止、水源の維持を道の条例により許可がいるので関係当局と協議していく、細目協定をして守つて頂く

神本議員　義務教育について—中心市街地の二校についていろいろ「とかち新聞」に投書があり、委員会は西小、東小を同じ規模の二校案が具体的になつていない、西小の位置と規模にかかわりあつてくる、町民のなかに種々の意見がある教委が明らかにすべきで、それを前提に西小の改築を考えるべきでないか

岡教育長　共感を感じている、四十九年度の方針で示したが、中心校の西小、東小の問題は地域住民の意見をききすすめたい

神本議員　北電の電柱敷地は二十年間にわたつて無償であり、農電移管による業務委託に町が四百五十万円の補助は株式会社にたいし、二十年間無償のうえ委託料はむじゅんとの行政指導があつた、町は基本的姿勢でこの問題を解決すべきでないか

富田助役　農電の北電移管にともなう電柱、委託料の問題は極めて適当でないので、町ばかりでなく相当数の町村全体の問題で、他別政策として本町の提案が採択され北電に要請していくことになり目下手続き中で、改善するようにしたい

◆

このあと、道町村会では北電と交渉した結果、業務委託料については従来の五〇%を八五%に引上げ、電柱敷地使用料については五カ年計画で順次支払うことになりました。

# 道の推奨状

## まるや製菓へ

優良道産品推奨協議会（会長・樫原泰明道副知事）では、このほど足寄町東二区まるや製菓（山陰安吉氏）の観光みやげ品「ななかまどせんべい」について

あなたの出品による上記品は審査の結果、優良と認め推奨したとして推奨状をおくりました。

推奨期間は二年間で、この間、優良道産品として道の機関を通じて一般に周知推奨することになりますが足寄町の観光みやげ品としてはじめての受賞で、町役場横の同製菓では詰合せ六百円で売出しています。

おでん スナック シャンブル
足寄町南一区　T 二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
(に) 自動車　新津はなや
足寄町西三区　T 二六二六

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の 芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

家具と建材
信用は最大のサービス
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二三一番
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！

技術に生きる！
—あらゆる電気器具—
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
有限会社 ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

マツカラー
スチール　チエンソー代理店
共立
刈払機各種　電動工具　造林用具
打刃物類　(機械迅速修理)
有限会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T 二三〇七

★三日間におよぶ交通ゼネストを頂点にしたことしの国民春斗は六百三十万人の組織労働者によつてたたかわれ、一般国民にとつてはまことに迷惑千万な年中行事。

★とくに学校の先生の一日スト、役場職員の半日ストははじめての事態で、「職員は…同盟罷業怠業その他の争議行為をし…このような違法な行為を企て　またはその遂行を共謀し、そそのかし、もしくはあおつてはならない」という地方公務員法に違反する、けしからん行為。

★たしかに法治国としては法律を守るべきですが、しかしその法律の上にある憲法では「勤労者の団結する権利および団体交渉その他の団体行動をする権利はこれを保障する」となつていて、公務員といえどもストライキをする権利を保障しなければならないのであり、これは先進諸国では常識になつていること。

★それだからこそ、このたびの春斗は、政府と労働側とのあいだでこんご一年半以内に公務員の労働基本権を処理することで解決をみたもので、憲法をふみにじつた法律はいずれ手直しせざるを得ないものの憲法の改正は衆参両院の三分の二以上の賛成で国民投票にかけなければならないが、法律は時の政府の都合のよいように多数党の力で強行採決でデッチあげられるだけに、はかりにかければ法律を守らないものよりも憲法を守らないものの方が罪が重いこと。

★ストは一般国民には迷惑なことだが、当事者にすればなにも好き好んでやつているわけではなく『賃金を上げて下さい』『ハイ承知しました』というわけにはいかないのが労使の関係で、しかも貧弱な社会保障のなかで異常なインフレをあおつて勤労者を苦しめておいて、ストはいけないと押えつける権利は政府や大企業にあるのかどうかということで、むしろこうしたときにストをぶつないような意気地のない労働組合では頼りにならないこと。

★かつて、労働組合をつぶし、反対党をなくし、言論機関を御用化し、民主主義者や自由主義者を非国民としていつてついに悲惨な侵略戦争に突つ走つた歴史からも、時の政治権力に勝手なことをさせないブレーキ役として、常に労働組織が整然と統一行動がとれる態勢を確立するためにも—